

2019年1月21日

## 医師偏在の解消にむけたデータの活用について

—「医師・歯科医師・薬剤師調査」をそのまま活用することの限界—

日本医師会総合政策研究機構 前田由美子

医師需給等の分析には、厚生労働省の「医師・歯科医師・薬剤師調査」が活用されることが多い。同調査は2014年まで、医師のいわゆるホームグラウンド（主たる勤務地）でのデータしか捕捉していなかった。しかし、医師は大学病院から関連病院へ派遣されることがあるほか、他の病院と兼務しているケースがある。そこで、2016年調査から兼務先（従たる従業地）も調査されるようになった。

本稿は、同調査をもとに医師の兼務状況を分析したものである。医師の偏在解消に向けて、今後、兼務先も含めたデータの活用が広がることを期待したい。

## 1. 「医師・歯科医師・薬剤師調査」の変遷

2019年4月から都道府県の「医師確保計画」の策定がはじまる<sup>1</sup>。これにむけて、厚生労働省の「医療従事者の需給に関する検討会医師需給分科会」では医師偏在指標を用いた検討もはじまっている。医師偏在指標に限らず医師に関するさまざまな分析には厚生労働省の「医師・歯科医師・薬剤師調査」（以下、「医師調査」）が活用されている。

しかし2014年までの「医師調査」は、いわゆる医師のホームグラウンドでの状況（主たる勤務地）のみを捕捉するものであった。たとえば、大学病院のあるA市の医師が、週1日B市の関連病院で勤務する場合でもA市でだけカウントされた。過去の調査では、病院があるにもかかわらず医師がいない市もあった。いわゆるチェーン病院の医師が本部で一括して届け出されたためと推察される。

そこで、2016年の「医師調査」から、「従たる従業地」（以下、兼務先）がある場合には、その所在地と業務も調査することになった。ただし、医師がA市以外にB市で兼務しているといったことしかわからなかった。

そこで2018年の「医師調査」では、主たる従事先、兼務先それぞれの週の勤務日数（週1回午前のみは0.5日など）と宿直・日直回数も調査した（結果は2019年12月頃公表予定である）。

以下、2016年調査をもとに医師の兼務状況を示し、主たる勤務地のみに着目することの限界について述べる。

---

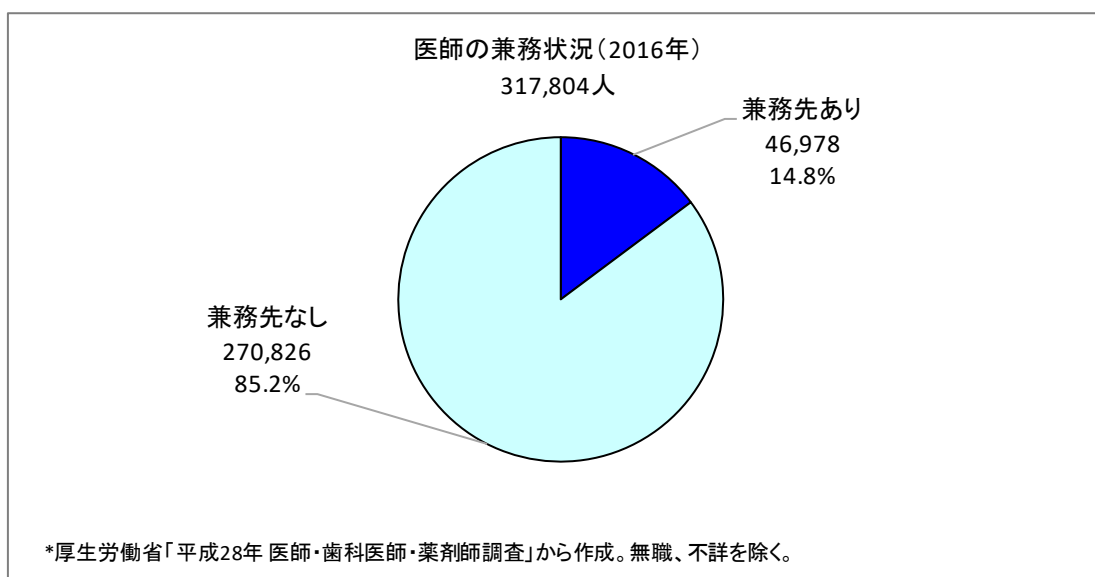
<sup>1</sup> 医療法及び医師法の一部を改正する法律（平成30年法律第79号）による。

## 2. 「医師・歯科医師・薬剤師調査」の見る医師の兼務状況

医師数は2016年には317,804人（無職、不詳を除く）であり、このうち、兼務先がある医師は14.8%である（図 2.1）。

注）2016年調査では実人員のみ調査。2018年調査から常勤換算ベースでも調査。

図 2.1 医師の兼務状況



兼務先ありの医師の兼務先は病院 58.5%、診療所 30.7%である（図 2.2）。大学病院から関連病院へ派遣されるケースだけでなく、へき地診療所や代診医としての兼務もある。「医師調査」を単純に見ると無医町村であるところにも、兼務で来ている医師がいる（表 2.1）。市町村単位で見ると当該市町村をホームグラウンドとする医師に兼務で来ている医師を加えると医師数（実人員）が2倍になるところもある。

図 2.2 兼務先ありの医師の兼務先

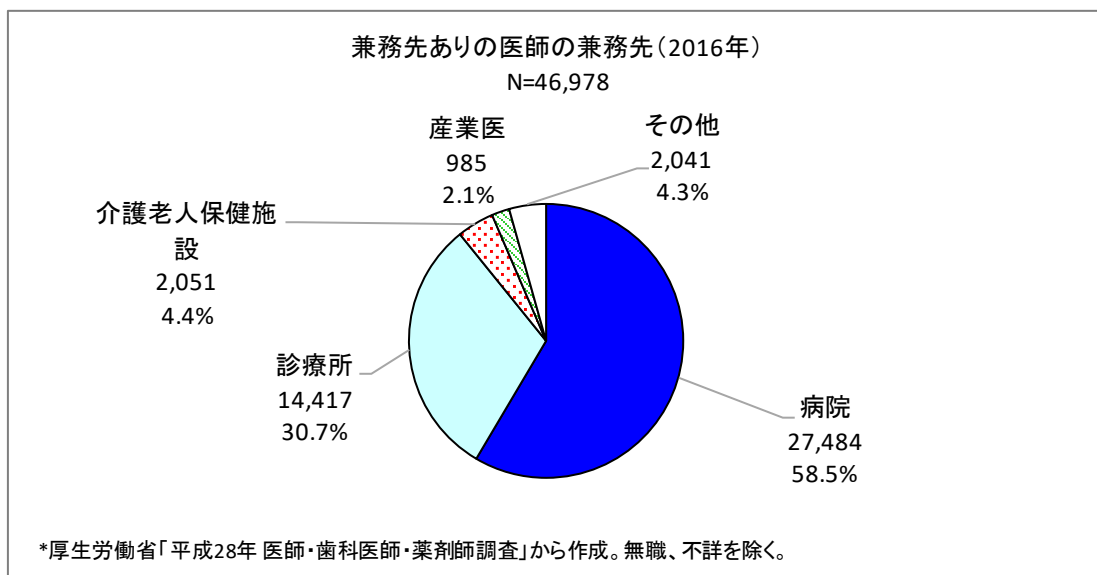


表 2.1 無医町村の状況

都道府県	二次医療圏	市町村	医師数	兼務で来ている医師数	勤務先(推定)
秋田県	能代・山本	八峰町	0	3	町営診療所
岡山県	津山・英田	西粟倉村	0	3	国民健康保険診療所
秋田県	能代・山本	藤里町	0	2	民間病院附属医院
高知県	中央	大川村	0	2	国民健康保険診療所
青森県	下北地域	佐井村	0	1	下北医療センター診療所
福島県	相双	飯館村	0	1	指定管理
群馬県	富岡	南牧村	0	1	村立診療所
長野県	飯伊	平谷村	0	1	国民健康保険直営診療所
京都府	丹後	伊根町	0	1	国民健康保険診療所

\*厚生労働省「平成28年 医師・歯科医師・薬剤師調査」から作成。医師数には無職、不詳を含まない。

大学病院のある二次医療圏や市町村では、医師の兼務状況を把握することがより重要である。

次頁は山口県の例である（表 2.2）。

宇部市（山口大学附属病院所在地）の医師数は 835 人であり、このうち兼務先ありは 157 人である。さらにこのうち市外に兼務先がある医師が 118 人である。2016 年の「医師調査」では、兼務時間は不明であるが、全員が週 5 日中 1 日の兼務とすると宇部市外流出医師は常勤換算で 24 人であり、大学病院のある宇部市内の医師の 3%程度が市外に流出（流入は約 1%）していると計算される。

他の地域でも、大学病院所在地では医師数が多いが、当該地域外への兼務分を割り引いて医師数を把握する必要がある。

表 2.2 医師の兼務状況（山口県）

二次医療圏	市町村	総数	兼務先あり																				
				岩国市	和木町	柳井市	周防大島町	上関町	田布施町	平生町	下松市	光市	周南市	山口市	防府市	宇部市	美祢市	山陽小野田市	下関市	長門市	萩市	阿武町	県外
岩国	岩国市	289	15	12	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	和木町	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
柳井	柳井市	99	4	-	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	周防大島町	33	8	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	0
	上関町	2	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	田布施町	6	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	平生町	29	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
周南	下松市	76	7	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	光市	92	10	1	-	1	-	-	-	-	-	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	周南市	342	28	-	-	-	1	-	-	-	1	2	21	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
山口・防府	山口市	422	37	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	1	7	-	-	-	-	-	-	3
	防府市	280	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	3	-	1	-	-	1	-	2
宇部・小野田	宇部市	835	157	6	-	2	1	-	-	-	-	3	6	25	12	39	7	12	11	12	11	-	10
	美祢市	33	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	3	-	-	-	-	-	0
	山陽小野田市	154	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	1	5	-	-	-	-	0
下関	下関市	709	62	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	48	-	-	-	10
長門	長門市	63	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	2	8	-	-	0
萩	萩市	91	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	8	1	0
	阿武町	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	0
計		3,565	383	20	0	8	10	1	0	0	6	12	30	53	23	57	11	18	61	21	21	1	30

\*厚生労働省「平成28年 医師・歯科医師・薬剤師調査」から作成。総数には無職、不詳を含まない。

次頁以降に都道府県別の医師の兼務状況を示す。

東京都をホームグラウンドとする医師数は 43,971 人で、兼務先ありが 9,243 人、うち 3,022 人が都外に兼務している（表 2.3）。都外の主な兼務先は埼玉県 852 人、神奈川県 811 人、千葉県 592 人、茨城県 154 人などとなっている。一方、都外から東京都に兼務で来ている医師は 2,088 人である（表 2.4）。

埼玉県をホームグラウンドとする医師は 12,133 人で、県外で兼務する医師が 775 人、県内に兼務で来ている医師が 1,185 人（うち東京から 852 人）であり、単純比較すると流入超過である。仮に県外で兼務する医師と県内に兼務で来ている医師のそれぞれの勤務日数が同じであるとすると（※）、埼玉県では同県をホームグラウンドとする医師数よりも 3%程度多い医師が稼働していると計算される。これは都道府県単位で見ると誤差の範囲かもしれないが、二次医療圏別、市区町村別、診療科別に細分化していくと、この乖離はさらに広がる。

※) 2018 年「医師調査」からは兼務先での勤務日数も調査するようにしたので常勤換算での計算が可能になる。

表 2.3 都道府県別医師の兼務状況

[表の見方(例)]

東京都は医師数43,971人で兼務先ありが9,243人、うち3,022人は都外に兼務。

	医師数 ①	兼務先あり ②	②÷① (%)	兼務先が 県外 ③	③÷① (%)
北海道	13,235	1,026	7.8	26	0.2
青森県	2,681	286	10.7	37	1.4
岩手県	2,593	238	9.2	31	1.2
宮城県	5,640	544	9.6	69	1.2
秋田県	2,371	231	9.7	11	0.5
山形県	2,547	346	13.6	19	0.7
福島県	3,876	646	16.7	56	1.4
茨城県	5,503	858	15.6	222	4.0
栃木県	4,485	890	19.8	231	5.2
群馬県	4,607	776	16.8	118	2.6
埼玉県	12,133	2,193	18.1	775	6.4
千葉県	12,245	2,102	17.2	654	5.3
東京都	43,971	9,243	21.0	3,022	6.9
神奈川県	19,415	3,820	19.7	1,129	5.8
新潟県	4,653	586	12.6	31	0.7
富山県	2,691	242	9.0	24	0.9
石川県	3,386	515	15.2	56	1.7
福井県	1,996	348	17.4	17	0.9
山梨県	1,984	183	9.2	43	2.2
長野県	4,882	620	12.7	48	1.0
岐阜県	4,352	616	14.2	90	2.1
静岡県	7,635	1,062	13.9	170	2.2
愛知県	16,268	1,973	12.1	245	1.5
三重県	4,074	649	15.9	47	1.2
滋賀県	3,256	406	12.5	77	2.4
京都府	8,687	1,526	17.6	403	4.6
大阪府	24,788	3,505	14.1	519	2.1
兵庫県	13,869	1,437	10.4	260	1.9
奈良県	3,391	566	16.7	171	5.0
和歌山県	2,860	379	13.3	41	1.4
鳥取県	1,776	189	10.6	29	1.6
島根県	1,968	397	20.2	20	1.0
岡山県	5,958	1,239	20.8	191	3.2
広島県	7,504	729	9.7	53	0.7
山口県	3,565	383	10.7	30	0.8
徳島県	2,492	362	14.5	34	1.4
香川県	2,807	269	9.6	27	1.0
愛媛県	3,735	338	9.0	18	0.5
高知県	2,262	276	12.2	11	0.5
福岡県	15,875	2,217	14.0	324	2.0
佐賀県	2,371	265	11.2	47	2.0
長崎県	4,208	430	10.2	28	0.7
熊本県	5,213	509	9.8	49	0.9
大分県	3,217	297	9.2	21	0.7
宮崎県	2,736	307	11.2	18	0.7
鹿児島県	4,446	622	14.0	29	0.7
沖縄県	3,597	337	9.4	10	0.3

主たる勤務先

\*厚生労働省「平成28年 医師・歯科医師・薬剤師調査」から作成。医師数(①)は無職、不詳を除く。



表 2.4 兼務先ありの医師の兼務先（都道府県別）

(人)

	兼務先ありの医師の兼務先									
	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県
北海道	1,000	1	-	1	1	1	-	-	-	-
青森県	-	249	11	5	5	-	-	-	1	-
岩手県	-	11	207	10	3	-	3	-	-	-
宮城県	1	8	22	475	1	10	9	-	1	1
秋田県	-	2	1	1	220	-	-	-	-	-
山形県	-	-	2	4	1	327	3	-	-	-
福島県	-	1	1	2	-	4	590	4	5	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	6	636	26	4
栃木県	-	-	1	1	-	-	9	63	659	21
群馬県	-	-	-	1	-	-	-	4	22	658
埼玉県	3	1	1	4	-	1	5	35	33	29
千葉県	5	2	-	2	1	-	11	41	8	5
東京都	7	8	2	13	3	11	64	154	101	58
神奈川県	8	2	2	-	2	5	4	28	27	13
新潟県	-	1	-	-	-	3	4	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-
静岡県	1	-	-	-	-	1	3	3	1	-
愛知県	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
大阪府	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-
佐賀県	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	1,032	286	250	521	237	365	714	976	886	793
他県からの流入	32	37	43	46	17	38	124	340	227	135

\*厚生労働省「平成28年 医師・歯科医師・薬剤師調査」から作成

(人)

		兼務先ありの医師の兼務先													
		埼玉 県	千葉 県	東京 都	神奈 川 県	新潟 県	富山 県	石川 県	福井 県	山梨 県	長野 県	岐阜 県	静岡 県	愛知 県	三重 県
主たる 勤務先	北海道	1	-	12	1	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-
	青森県	2	1	8	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	岩手県	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	宮城県	3	-	10	-	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-
	秋田県	1	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	山形県	-	-	5	1	1	-	-	-	-	1	-	-	1	-
	福島県	8	1	18	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
	茨城県	29	55	88	7	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1
	栃木県	46	11	55	12	5	-	-	-	-	1	-	5	-	-
	群馬県	28	1	44	5	3	1	-	-	-	7	-	-	-	-
	埼玉県	1,418	79	502	46	5	2	-	-	1	5	-	12	2	1
	千葉県	85	1,448	385	60	2	2	-	1	-	8	-	18	5	-
	東京都	852	592	6,221	811	35	4	1	2	32	45	5	115	27	5
	神奈川県	97	86	724	2,691	8	1	1	1	2	7	3	90	6	-
	新潟県	4	3	14	1	555	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	富山県	-	-	2	-	6	218	12	-	-	-	2	-	-	-
	石川県	-	1	4	-	-	39	459	7	-	1	-	-	1	-
	福井県	-	1	-	-	-	2	7	331	-	-	2	-	1	-
	山梨県	2	1	29	2	-	-	-	-	140	3	-	3	-	-
	長野県	8	5	20	2	1	-	1	-	4	572	1	2	1	-
	岐阜県	1	-	5	-	-	-	-	1	-	1	526	1	69	1
	静岡県	8	6	72	29	-	-	-	-	3	2	2	892	31	-
	愛知県	1	2	24	7	-	-	-	-	-	4	107	21	1,728	52
	三重県	-	2	3	-	-	-	-	1	-	-	1	-	19	602
	滋賀県	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	1
	京都府	-	-	8	4	-	-	1	13	-	1	3	6	13	6
	大阪府	1	1	15	4	-	1	2	5	-	-	-	1	1	13
	兵庫県	-	1	5	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-
	奈良県	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
	和歌山県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	島根県	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	岡山県	1	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
	広島県	-	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
山口県	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
香川県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
愛媛県	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
福岡県	-	-	6	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
佐賀県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
熊本県	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
鹿児島県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
沖縄県	1	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
計	2,603	2,302	8,309	3,702	623	270	484	366	182	660	657	1,174	1,917	698	
他県からの流入	1,185	854	2,088	1,011	68	52	25	35	42	88	131	282	1,315	96	

\*厚生労働省「平成28年 医師・歯科医師・薬剤師調査」から作成

(人)

	兼務先ありの医師の兼務先														
	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県
北海道	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-
茨城県	2	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	3	-	1	1	-	-	1	2	-	-	-	-	-
千葉県	1	1	-	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-
東京都	1	3	16	6	-	-	2	3	1	6	1	3	3	2	3
神奈川県	-	3	2	-	-	-	-	-	1	-	1	1	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	2	1	3	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	2	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
愛知県	2	3	11	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
三重県	2	2	7	1	4	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
滋賀県	329	46	16	5	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
京都府	97	1,123	146	50	28	8	-	-	7	1	1	2	2	-	-
大阪府	18	76	2,986	237	75	41	-	-	4	4	-	3	4	1	2
兵庫県	2	24	174	1,177	9	6	-	1	7	8	-	5	2	-	-
奈良県	2	19	121	7	395	4	1	-	-	1	-	-	-	-	-
和歌山県	-	1	36	2	-	338	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	2	2	-	-	160	18	7	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	1	-	-	10	377	1	3	-	-	-	-	1
岡山県	-	1	3	35	1	-	2	1	1,048	73	5	3	39	14	4
広島県	-	1	2	3	-	-	-	-	14	676	15	-	2	2	1
山口県	-	1	1	1	-	-	-	1	1	2	353	-	1	-	-
徳島県	1	-	1	8	-	-	-	-	1	1	-	328	9	8	-
香川県	-	-	2	-	-	-	-	-	6	3	-	3	242	3	2
愛媛県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	3	-	2	4	320	-
高知県	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	2	2	265
福岡県	-	2	1	2	-	-	-	-	-	4	23	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-
熊本県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
大分県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	459	1,317	3,547	1,546	515	401	178	401	1,106	788	404	352	314	353	281
他県からの流入	130	194	561	369	120	63	18	24	58	112	51	24	72	33	16

\*厚生労働省「平成28年 医師・歯科医師・薬剤師調査」から作成

(人)

	兼務先ありの医師の兼務先								計	他県に流出
	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県		
北海道	-	-	-	-	-	-	-	1	1,026	26
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	286	37
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	238	31
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	544	69
秋田県	-	-	-	1	-	-	-	-	231	11
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	346	19
福島県	-	-	-	-	-	-	1	-	646	56
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	858	222
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	890	231
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	-	776	118
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	2,193	775
千葉県	1	-	-	2	-	-	3	2	2,102	654
東京都	7	4	1	1	-	3	8	1	9,243	3,022
神奈川県	-	1	-	-	-	-	1	1	3,820	1,129
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	586	31
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	242	24
石川県	-	-	-	-	-	-	-	2	515	56
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	348	17
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	183	43
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	620	48
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	616	90
静岡県	1	-	-	-	-	-	-	-	1,062	170
愛知県	2	-	-	-	-	-	2	-	1,973	245
三重県	1	-	-	-	2	-	-	-	649	47
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	406	77
京都府	2	-	-	-	-	-	2	-	1,526	403
大阪府	3	-	-	2	-	2	-	1	3,505	519
兵庫県	3	1	-	2	-	-	4	-	1,437	260
奈良県	-	-	-	-	-	-	1	-	566	171
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	379	41
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	189	29
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	397	20
岡山県	2	-	-	-	-	-	2	-	1,239	191
広島県	5	2	-	-	1	-	-	-	729	53
山口県	16	-	1	1	-	-	-	-	383	30
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	362	34
香川県	2	-	-	-	-	-	1	1	269	27
愛媛県	3	-	-	-	1	-	-	-	338	18
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	276	11
福岡県	1,893	105	48	43	55	6	18	3	2,217	324
佐賀県	36	218	2	5	-	-	1	-	265	47
長崎県	10	9	402	1	-	-	-	1	430	28
熊本県	22	2	-	460	4	8	6	-	509	49
大分県	12	1	1	-	276	2	1	1	297	21
宮崎県	-	-	-	2	2	289	7	-	307	18
鹿児島県	5	-	1	4	-	14	593	1	622	29
沖縄県	-	-	-	1	-	-	-	327	337	10
計	2,026	343	456	525	341	324	652	342	46,978	9,581
他県からの流入	133	125	54	65	65	35	59	15		

\*厚生労働省「平成28年 医師・歯科医師・薬剤師調査」から作成

### 3. 「医師・歯科医師・薬剤師調査」活用の課題

2016年の調査から医師の兼務先が調査されるようになった。しかしさまざまな分析で、今もいわゆるホームグラウンドのデータだけが利用されている。医師は兼務先があるケースが少なくないので、地域別医師数の分析にあたっては兼務状況の集計結果も活用されることを期待したい。

ただし、「医師調査」は医師を100%捕捉できていないため<sup>2</sup>、地元ならではのリアルタイム情報が不可欠である。したがって「医師偏在指標」などの定量基準を導入するとしても、地元が把握した情報をもとに調整が行われることが望ましい。

医師の必要性については、大学病院等からの派遣ではなく地元密着の医師を自前で確保することが必須であるというレベルから、診療科によっては派遣で週何日かの勤務が良いというレベルなどさまざまである。医師としては大学病院に軸足をおいて研鑽したい、あるいは期間限定でというニーズもあると思われるので、どういう形で医師を確保するのか（自前確保か派遣でも良いのか）をあらかじめ整理しておくことも肝要と考える。

---

<sup>2</sup> いわゆるホームグラウンドのない医師（いったん退職して出産や育児中、定年退職後アルバイトのみ、企業等で一般社員として勤務など）から届出がないケースもあると想定される。